



基本理念
私達は心の
こもった医療を
行い、地域に信頼
される病院とな
ることを目指し
ます。
独立行政法人
国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●先山正二／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

「賽は投げられた」 —自分たちが出来ることでベストを尽くす—



NHO 高知病院 院長
先山 正二

今年の四国の梅雨入りは5月15日（ごろ）と1951年に気象庁が記録を取り始めてから最速の梅雨入りとなりました。梅雨入りの年平均が6月5日（ごろ）ですので2週間以上も早かったわけです。ちなみに昨年と一昨年のそれは、それぞれ6月10日（ごろ）と6月16日（ごろ）でした。原因としてインド洋の海水温の上昇により、日本付近の偏西風が平年より北寄りになったことによるとされています。さて、気になる梅雨明けは？四国の梅雨明けは、平年は7月17日（ごろ）ですが、本号が皆さんのお手元に届く頃には梅雨は明けているでしょうか。

7月23日（金曜日）には、いよいよ東京2020オリンピックが始まります。それに先駆けて高知でもシンガポールやチェコの選手・関係者約90名の事前合宿が始まろうとしています。今のオリンピック開催決定に至るまでの経緯をみると、開催に向けて「賽は投げられた」という思いですが、関係機関、関係者、観戦者には、大会終了まで臨機応変に適時かつ最善の感染対策を講じてもらいたいと思います。そうして何よりも、オリンピック、パラリンピックでの日本代表選手の活躍を願っています。

新型コロナ感染症に関しては、従来株から、アルファ株（イギリス型）へ置きかわり、今後は、より感染力が強いデルタ株（インド型）に置きかわる可能性が高いとされています。高知県内では新型コロナ新規感染の下げ止まり状態が続いています。6月20日からの1週間の10万人あたりの新規感染者数は、高知県が10.5で、四国他県（0.22 - 0.84）、中国他県（0.00 - 3.53）より明らかに多く、全国都道府県の中では7番目の多さです。さらに言えば、まん延防止等重点措置の対象となっている北海道、埼玉、大阪、兵庫、京都、福岡より

多い状況です。現在、高知県においては、デルタ株は確認されていませんが、今後、本県においてもデルタ株の影響が懸念されます。今後の全国的な人流の増加予測に加えて、アルファ株やデルタ株の性質上、感染割合の若い層での増加（65歳以上のワクチン接種がすすみ当該年齢層の感染割合の低下の要因もあり）、学校、家庭内での感染の増加などにより、すでに予測されている8月頃の“第5波”の襲来に対し、私たち医療者は身構えておく必要があります。

アルファ株はもちろんデルタ株に対しても、現在国内での接種に用いられているワクチンは有効であるとされていますので、ワクチン接種がより一層進むことが肝要となります。これからは、とりわけ若い年齢層へのワクチン接種の促進が望まれます。

当院では平日毎日約100～130人の新型コロナワクチン接種を継続していますが、接種会場として当院附属看護学校の体育館を使用しているため、これからの夏場に向けての会場の暑さ対策を進めています。

最後に、高松赤十字病院（香川県）で2回の新型コロナワクチン接種を受けた職員1042人全員に感染を防ぐことが期待できる抗体量を大きく上回る抗体量が確認されとの報道（高知新聞）がなされました。貴重な検討で、私たちも勇気づけられます。

新型コロナウイルスに対する基本的感染対策をこの一夏、我慢強く継続しつつ、ワクチン接種を迅速に、着実に、そして根気強く進めて行きましょう。自分たちが出来ることでベストを尽くしましょう。

四国重症心身障害研究会



療育指導室長代理
有吉 博史

第29回四国重症心身障害研究会（以下、四国重心研究会）を6月12日（土）開催致しました。たくさんの施設にご協力いただき、14演題の研究発表をして頂きました。参加者は、約150名でたくさんの方にご参加いただきました。当院からは、看護師の横山梨瀬さん、森岡昂平さんがすばらしい研究発表をして下さいました。たくさんの質疑もいただき活発な研究会となりました。

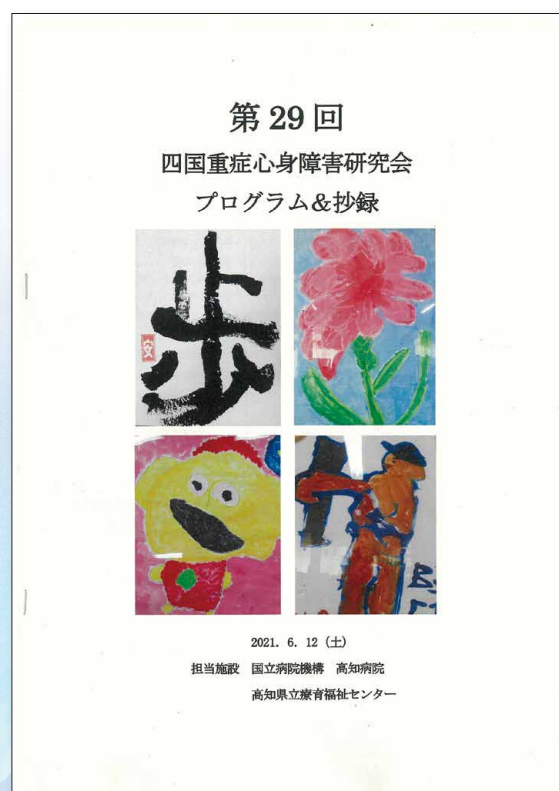
四国重心研究会は、重症心身障害児（者）の医療と福祉の向上および知識の普及を図る事を目的とする研究会です。年1回開催し、四国管内の国立病院、県立病院、民間病院の10施設の職員をもって構成されております。昨年度も開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止となりました。今年度についても、引き続き新型コロナウイルス感染症が広がりを見せていることから、安全を考慮しWEB開催で実施をしました。

高知病院は、主担当施設として関わらせていただきました。先山院長をはじめたくさんの職員の方々にご協力いただき準備を進めました。開催の1ヶ月前には、参加病院の方々と事前の接続テストも試みました。当日やってみないとわからない不安がありましたが、大きな接続トラブルもなく無事開催することができました。多くの学会や会議が中止となる中で、WEB形式で四国重心研修会が実施できたことは、大きな自信となったように思います。

コロナ禍において、これまでできていたことや繋が

りを維持するためには、WEBは必要なツールだと感じましたが、集まって開催する学会や研究会の緊張感や活気には及ばないとも感じました。ワクチン接種が進み少し希望もみえてきていますので、来年の四国重心研究会では集まって開催することができたらと思います。

最後になりましたが、中国四国グループ担当理事奥谷卓也様、高知県子ども・福祉政策部部長山地和様、ご多用中にも関わらず来賓の祝辞賜り有難うございました。また、四国重心研究会にご協力いただきました各施設の皆様本当に有難うございました。



診療科紹介 (呼吸器センター内科)



呼吸器内科医長
畠山 暢生

当院は2000年10月に旧国立高知病院と国立療養所東高知病院が統合して現在の建物での病院の運用がはじまりました。現在の呼吸器内科が生まれたのもまさにその時からでした。その後、徐々に呼吸器内科の患者さんも増加し2012年8月1日には、呼吸器内科と呼吸器外科が統合された呼吸器センターが開設されました。呼吸器内科では、肺炎・肺結核症・慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息・肺癌など多くの疾患を診療しております。

呼吸器内科で行う検査で重要なものとして気管支鏡検査があります。この検査は、主に肺癌の診断をするために行うことが多いです。胃内視鏡検査と比べるとなじみが薄い検査ですが、肺癌を内科的に診断する上では欠かせません。内視鏡の直径は3～6mm程度であり、胃内視鏡と比較すると二

回り程細くなっております。検査は、口から声門を超えて気管の中に内視鏡を挿入していきます。通常、痛みを伴う検査ではありませんが、咳が出るのがしんどいので、咳止めの麻酔薬と静脈麻酔薬を併用して行っています。胃内視鏡と大きく異なる点は、内視鏡で直接腫瘍が見えることが少ないことです。実際の検査では、多くの気管支の穴の中から腫瘍につながる道を探し出し、X線を見ながら位置を合わせ、その後、エコー（内視鏡の中を通した直径1mm強の管）で確認し、組織の採取を行います。この採取した組織を用いて診断・遺伝子検査などを行い治療方針を決定していきます。

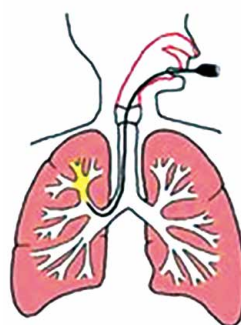
現在、当科は「七人の侍」ならぬ、7人の呼吸器内科医で日夜診療にあたっております。昨年より新型コロナウイルスの影響で、いろいろ大変なこともありますが、何とかこの難局を乗り越えていきたいと考えております。呼吸器疾患でお困りのことがありましたら、気軽に当科にご相談いただければと思います。呼吸器外科とも連携し迅速に対応させていただきますと思います。



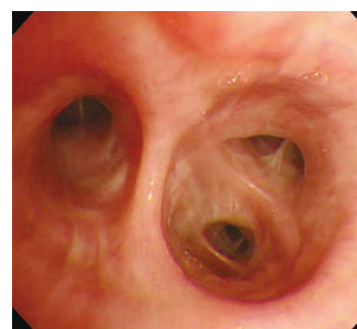
気管支ファイバー



ファイバーの先端



検査のイメージ



気管支鏡で見る正常な気管支の写真

認定看護師紹介



5階北病棟
認知症看護認定看護師
福留 可純

昨年度より、認知症看護認定看護師として活動させて頂いています、福留 可純（ふくどめ かすみ）と申します。私は、これまで経験した様々な看護場面において、認知症患者さんへの対応で、必要な治療、看護が受け入れられず、逆に興奮を助長させてしまうなど、苦慮する場面が多々ありました。認知症患者さんの不安に寄り添い、穏やかな入院生活が送れるようなかわりを身につけたいと考え、認知症看護認定看護師の道に進みました。

認知症看護認定看護師になってから私は、どういった思考でそれを判断し実施したのかを一つひとつ振り返り、検証するようになりました。自己の判断に責任をもつためにも大切なプロセスだと考えています。振り返り検証したことを次の看護に繋げていくことは、私にとって大変効果的且つ効率的な方法であり、継続した看護が行えるように日々実践しています。

現在、認知症看護認定看護師として、各病棟ラウンド、睡眠導入剤の使用方法の見直し、各部署での勉強会や、認知症看護専門研修の実施などの活動をしています。各病棟ラウンドでは病棟看護師とともに

に患者の元に向かい、環境、1日の過ごし方、薬剤の使用状況等を確認し、それに対する指導・助言を行っています。また、院内共通の“不眠薬物治療プロトコル”を作成して、睡眠導入剤の使用方法を見直し、薬剤の副作用によるせん妄、ふらつき等による転倒事例の減少に取り組んでいます。今後は認知症ケアチームを立ち上げ、多職種との連携を強化しさらに充実したサポートができるように取り組んでいきたいと考えています。

私はまだ、認知症看護認定看護師のスタートラインに立ったばかりです。看護の専門性が高まっている現在、幅広い分野で活躍する認定看護師が増えていきます。他の認定看護師との情報共有を行い、多角的な視点で認知症患者さんにかかわれるように取り組んでいきたいと思っています。また、地域に信頼される病院を目指し、高知病院のスタッフだけではなく地域の方へも認知症ケアについて理解して頂き、「認知症になっても楽しい老後を過ごせる社会」になる。私の夢は膨らむばかりです。



入職し2年目に突入しました



4 階南病棟 助産師
中嶋 秋沙

4階南病棟へ配属され、2年目となりました。4年間の学生生活は、つらいこともありましたが、当院の指導者・教員を始め、友人や家族の支えがあり、助産師になることができました。

無事助産師になった、この1年は本当に目まぐるしい1年でした。助産師としてはもちろんのこと、看護師としても新人であった私に、まず訪れた壁は、採血や点滴ルート確保でした。患者さんの視線を感じながら処置が成功した時、「全然痛くなかったで!」と満面の笑みで仰ってくださった時は、心臓が飛び出るほど嬉しかった事を今でも思い出します。また出産後、患者さんから「新人とは思えないほどしっかりしていて、安心して過ごすことができたよ」と言葉をかけていただいたこと、帝王切開術で関わらせて頂いた患者さんから「あなたの背中が逞しくて、緊張している私も安心できたし、本当に心の支えになったよ。あ

りがとう。」と温かい言葉をかけてくださったことなど沢山思い出します。

日々看護していく中、緊張や不安に押しつぶされ、精神的・体力的に辛い時期もありました。しかし、目の前に必死な私を受け止め、奮い立たせてくださったのは、患者さんはもちろんのこと、プリセプターやサポートナース、病棟スタッフの皆さんが、真摯に向き合い、私の成長を見守ってくださっているからだと感じています。

まだまだ、先輩方のようににはできませんが、私の目指す「患者さんに寄り添い、患者さんの力を最大限に引き出す看護」ができるよう、自分自身のスキルや知識、人間力を学び、磨き、志をもって、信頼される助産師を目指し、日々邁進していきたいと思っています。

看護師になって 2年目になりました!



1 階南病棟 看護師
山崎 麻央

私は去年の4月から重症心身障害児(者)病棟に配属となって2年目を迎えました。入職したばかりのころは職場の環境に慣れることに精一杯で、実習で経験したことのない重症心身障害児(者)病棟への配属ということもあり不安でいっぱいでした。看護師として1人立ちをめざし、先輩看護師とともに看護ケアや新たな技術の習得を積極的に行ってきました。3ヶ月後には夜勤が始まり、1人で患者さんを受け持つことへの不安がありましたが、同時に患者さんの生命を預かるということへの責任感も感じました。

重症心身障害児(者)病棟での1年間は患者さんとのコミュニケーションに苦労しました。言語的・非言語的コ

ミュニケーション能力の力も患者さんによって異なり、それらを読み取りケアを行うことがとても難しかったです。しかし、日々患者さんに向き合い、接していくことで患者さんから笑顔がみられ、患者さんとのコミュニケーションをとることの重要性を学び、自分自身も笑顔になりました。

プリセプターナースやサポートナース、先輩看護師に教えていただき成長することができたと感じています。まだまだ知識、技術ともに未熟ではありますが、日々精進し患者さんに寄り添い、支えとなれるよう努めていきます。

病棟に花を

6階北病棟 屋上庭園の紹介



看護師長
河野 良二

6階北病棟の屋上には、患者さんの気分転換や外気浴をするための庭園があります。

結核治療は主に抗結核薬の服用、食事（栄養）、安静が主体になります。また、感染予防のため病室内は陰圧空調装置を使用しており、病室内を陰圧に保つために病室の窓を開けることができません。患者さんは限られた空間の中で入院生活を送っています。そのような限られた空間から時には屋上庭園に行き外気を肌で感じることができる空間は患者さんにとつ



て非常に大切です。

屋上庭園にはツツジが植えられており、その間にはアジサイ、アペリア、キンシバイなどの花が咲いており癒される空間です。庭園の手入れは事務職員の方々の協力もあり雑草のない状態を維持していただき感謝しております。

今後も癒しの空間として屋上庭園を活用していきたいと思います。



高知病診連携フォーラムとがんサロンのご案内

看護師長
西本 美香



①高知病診連携フォーラム

感染対策のため自粛していました高知病診連携フォーラムを、3月から2か月毎にオンラインでの開催を企画しております。5月19日は「医療従事者のためのワクチンガイドライン」の講演を開催することができました。7月も企画しておりますので、ご参加下さい。

●第172回高知病診連携フォーラム

令和3年7月21日（水）18:30～19:30

高知大学医学部 外科学外科講座 病院教授 並川 勉 先生

講演「がん診療における体重減少と悪液質」



国立病院機構高知病院のホームページにも、参加登録のリンクを掲載しております。

②がんサロンのご案内

コロナ禍において長く休会していた「がんサロン」を、近く、再開する方向で準備しております。3密をさけることが最優先されるなか、Webを使って皆さんと情報交換ができればと考えています。スマートフォンをお持ちの方、興味のある方はぜひ地域医療連携室までお問い合わせください。参加方法などをご説明させていただきます。

問い合わせ先：地域医療連携室 088-828-4465

職員の異動

5月2日付～7月1日付の人事異動（常勤）

採用

▶ R3.7.1

診療情報管理士

田村 真千

退職

▶ R3.6.30

診療情報管理士
助産師

坂井 由香
芝 万智

栄養管理室だより

旬を感じるレシピ紹介



栄養管理室長代理
永野 由香里

新型コロナウイルス感染症の流行が収まらない中、今年も暑い夏がやってきました。屋内と暑い屋外での温度差により食欲低下やだるさを引き起こしやすい時期ですが、バランスのとれたお食事にて体調を崩しやすい季節の変わり目や暑い夏を乗り切りましょう。今回は旬の《とうもろこし》と、涼を感じる《サイダー》を用いたレシピのご紹介です。

●とうもろこしとエビと枝豆のかき揚げ.....



いの町枝川産の
とうもろこしを使用

- ① とうもろこしの実をこそぎ取る。
 - ② むきえび、むき枝豆、とうもろこしをボールに入れ、分量外の小麦粉を薄くまぶす。
 - ③ ②に㉞の天ぷら衣をつけ、油で揚げる。
 - ④ 敷紙を敷いた器に盛りつける。
- 《1人分の栄養価 エネルギー：250kcal、たんぱく質：13g》

【材料】(3人分)

- | | | | |
|----------------|-----|--------------|------|
| ● とうもろこし | 1本 | ● むきえび | 100g |
| ● むき枝豆 | 50g | ● 小麦粉 | 40g |
| ● 揚げ油 | 適量 | ㉞ ● 卵 | 2/3個 |
| ● 塩 | 適量 | ● 水 | 20ml |

とうもろこしには甘味のもとになる糖質が多く含まれています。糖質は消化吸収が早く、すぐにエネルギーとなるため疲れやすい夏にぴったりの食材です。粒の白い部分（胚芽部）にはリノール酸やビタミンB1、Eなどの栄養分が多く含まれており、動脈硬化の予防・改善効果が期待できます。また、豊富に含まれる食物繊維には便秘改善の効果も期待されますので、ぜひ旬の味をご賞味下さい。

●しゅわしゅわ感を楽しむ 涼感サイダーゼリー.....



- ① 果物は小さくカットした後、キウイと小夏は分量外の砂糖と水適量を入れた鍋で短時間煮て水を切って冷ましておく（ゼラチンを固まりやすくするため）。
- ② 80℃以上のお湯100mlでゼラチンを溶かす。
- ③ ②のゼラチン液を、ボールに入れた常温のサイダーに少しずつ入れ、そっと混ぜ合わせながらサイダー液を作る。ゼラチン液が熱い場合は常温にしておく。
- ④ ゼリー容器に果物を入れ、③のサイダー液を流し入れる。
- ⑤ 冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑥ 器に盛り付ける。

《1人分の栄養価 エネルギー：86kcal、たんぱく質：2.0g》

サイダーから炭酸が抜けるのは、①圧力が下がる、②温度が高い（サイダーと混ぜる際のゼラチン液の温度が高いと抜けやすい）ことが主な原因です。しゅわしゅわ感を残したゼリーを作るには、ゼラチンをお湯で溶いたあとの温度が高い場合は、ゼラチン液を凝固温度（約20℃）近くまで下げてからサイダーと合わせるのがポイントです。又、勢いよくかき混ぜたりしても炭酸が抜けてしまうので注意して下さい。

【材料】(5人分)

- | | | | |
|--------------|-------|---------------|------|
| ● サイダー | 500ml | ● 小夏 | 1/2個 |
| ● キウイ | 1/2個 | ● 砂糖 | 小さじ1 |
| ● 黄桃缶 | 30g | ● ゼラチン | 10g |
| ● お湯 | 100ml | ● ミントの葉 | 適量 |

感染管理室だより

新型コロナウイルス ワクチン接種



感染管理室
河村 ひとみ

当院では、5月6日より高知市の新型コロナウイルス住民接種の受け入れを開始いたしました。場所は隣接の附属看護学校体育館を接種会場に整備していただき、実施しています。

ワクチン接種は企画課医事職員が中心となり運営しています。接種人数は多い時で100人を超えますが、毎日各部署から応援を出していただき、想定以上に円滑な接種が行われています。当初、接種に来られた方を長くお待たせすることになるのではないかと危惧していましたが、今のところ長時間お待たせすることなく比較的スムーズにご案内できているように思います。

6月7日からは、接種会場での2回目予約をお受けできるようになりました。接種に来られた方から「予約がなかなか取れなくて困っている」と多数ご意見をいただいていたので、2回目予約ができるようになってからは「よかった」「ほっとした」と安堵のお声が聞かれるようになりました。予診・接種にあたる先生方からは、「もう少し増えても大丈夫」との力強いお言葉を頂いていますので、1日当たりの受け入れ数も今後徐々に増やしていく予定です。

場所が看護学校の体育館であり、「駐車場から遠い」とのご意見や、気温が高くなってきましたので会場内も暑く感じられてきています。できるかぎりスムーズな運営について、今後も企画課医事職員と検討していきたいと思います。梅雨が明けると、本格的な高知の夏がやってまいります。接種会場の職員の皆様も大変かと思いますが、引き続きご協力をお願い致します。

住民接種にキャンセルが生じた場合に、職員や職員ご家族、委託業者の方を代替接種にご案内してワクチンの廃棄を出さない運用を行っています。ご家族に限らず、身の回りで予約がとれずお困りの高齢者の方がいる場合は、企画課医事までご相談下さい。キャンセルが生じた時の代替接種は、高知市に住民票がある方若しくは他市町村の接種券がある方です。高知市外の職員でワクチン接種を希望される方については、医療従事者用ワクチンでの接種を検討しています。他院へのワクチン払い出し後に最終的な在庫状況を確認次第、ご案内したいと考えていますので、もうしばらくお待ち下さい。



医療安全管理室だより

医療安全管理係長
山本 三恵

医療安全への取り組み紹介

医療事故を起こさないための安全対策には、未然に防ぐ（事故が起こらないための予防策を実践）、同じ事故の発生を予防する（発生してしまった事故の原因を分析し、改善策を立て、実践することで予防を図る）の2通りがあります。今回は前者の事故を未然に防ぐ活動として、重症心身障害児者の日常生活援助に対する骨折予防に取り組んだので報告します。

当院の重症心身障害児者の骨折件数は平成27年度から5年間で20件です。そのうち、18件が原因不明でした。その中で、患者さんの身体的状況から日常生活援助時に骨折した可能性が高いと考えられた事例は6件でした。骨折予防策として平成26年度以前は、理学療法士をリーダーとした骨折予防チームが年に数回ラウンドし、身体の変形が強い患者さんをピックアップし、援助方法をチームメンバーと病棟スタッフが検討する活動を行っていました。しかし、平成26年度には骨折件数が5件、平成27年度には4件と多いまでした。その理由としてラウンドでは、評価や検討ができる対象人数が限られてしまうこと。検討内容は他の患者さんには応用できないこ

とも多い。また、ラウンドには特定の看護師以外は参加できず、ラウンド結果も看護助手や保育士には伝わらないなどが影響していると考えました。

そこで、スタッフ個々人の日常生活援助の質を向上させることが、骨折予防につながるのではと考え、援助に携わるスタッフの職種別に学習方法を工夫した取り組みを行いました。まずは基礎知識の学習として、四肢の関節拘縮により骨折が発生しやすいメカニズムや骨折をきたす危険な行為についての動画を視聴してもらいました。次に日常生活援助を演習し、看護師は日常生活援助手技の評価を受ける。看護助手は援助時の注意点や方法の指導を看護師にマンツーマンで受けた後に実践し、その評価を受ける。保育士は指導を受けながら演習するといったプログラムにしました。その結果、取り組み後の2020年度に発生した【ケアが原因と思われる骨折】は0件と効果がありました。

今回の取り組みは時間も労力もかかりましたが、患者さんの骨折を予防しようと多職種が力を合わせて取り組んだことが良い結果に繋がったと考えます。今後も継続していきたいと思います。

足先を持って上げると



注意して!!

するよ



看護学校だより

第59期生が入学し
頑張っています！看護学校
松下 裕子

令和3年4月7日、第59期生44名の入学式が行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため参加者を、学校長をはじめとする学校職員と看護部長・副看護部長、そしてご家族は1名のみとしての式典になりました。新入生たちは入学式に臨むにあたり、2週間前から体温をはじめとする健康状態を用紙に記載し当日持参する、そして入学式当日も玄関を入るとすぐに体温チェックを受けるという状況に、戸惑いを抱いたことと思います。それでも緊張した表情の中に、新しい仲間とマスク越しに会話をし、安心した様子や笑顔も見られました。

昨年度入学した58期生（2年生）は、新型コロナウイルスによる感染が広がり始めたため入学式を行うことができず、加えて5月半ばまで全く登校できずオンライン授業という状況で、看護学生としての生活が始まりました。そんな2年生全員が59期生の入学式前日、入学式の準備を笑顔で一生懸命してくれていた姿、新入生の入学を楽しみにしている言葉は印象的で、人として看護学生としての成長が感じられ、とても頼もしく思えました。

59期生が入学して3か月、私たち教員はオンライン授業と対面授業が行われる状況に、精神的に不安が増し看護学生として学ぶ意欲が低下する学生もいるのではないかと心配していました。今、59期生は…オンライン授業にも慣れ、登校日には担任、副担任から「マスクをしているからといって大きな声で話さない！また密になっているよ！」と時に指導を受けながらも、明るく元気に学校生活を送っています。そしてバイタルサイン測定や全身清拭といった校内実習にも、真剣に生き生きと取り組んでいます。59期生一人ひとりが自分の良さを見つけ、自分で考え行動するための力を身につけ、自分の目指す看護師へと成長できるよう支援していきたいと思います。



地域医療連携室だより

予約入院患者支援推進に向けた取り組み

看護師長 西本 美香



入院時支援は、退院支援困難が予測される患者様に入院前から、入院後の生活がイメージでき、安心して入院し、治療が受けられるように支援することです。昨年は、多職種連携の強化を図り、

栄養科に相談するルール化を行うことや、「退院支援プロセスシート」を作成し、各部門が外来から退院までの期間で行うべき支援の標準化に取り組みました。今年度は、今まで各部門で行っていた支援を、全ての予定入院患者様に、地域医療連携室の入院支援担当者が行うようにしました。支援内容は、従来、各科外来や病棟看護師が行っていた①患者基本情報の収集②手術や麻酔、DVT（下肢静脈血栓）予防対策・指導③入院オリエンテーションなどとなります。入院時支援担当者が専任して行うことで、標準化した支援を行うことができるようになりました。5月からは、入院時支援担当の看護師2名が増員となり、外来時から退院支援の充実が図れるようになりました。

今年度導入したCS（ケアサポート）セットや、あんしんネットについても、外来の時点で説明を行うようにしました。患者説明室には

CSセットを展示し、実際に見て利用するかどうか決めることができます。入院オリエンテーションは、タブレット端末を利用しオリエンテーションが行えるようにしました。現在は一般入院と手術入院の説明内容を作成し対応していますが、今後個別の説明ができるよう見直しを行っていきたいと思います。入院時支援担当者が専任して対応することで、外来患者の待ち時間の短縮を図ると共に、統一した説明を行うことができます。説明場所も新たに3室整備することができ、合計4室で説明することができます。患者様やご家族もゆったりしたお部屋で説明を受けることで、細やかな質問も多くなりました。病気に



に対する不安や、入院生活に対することも、対応することができるように、入院時支援担当者に患者様から相談の電話がかかることもあります。今後も、患者様が安心した入院生活が行えるように、患者満足度向上に繋げていきたいと考えております。御協力よろしくお願いします。

★スタッフ紹介★

入院時支援看護師 大菊 友美



5月から地域医療連携室に配属されました。入院支援看護師として、外来の患者様が安心して入院できるように支援させて頂きたいと思っています。不慣れなことが多いですが、頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

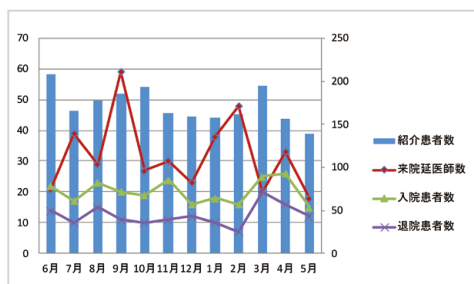
退院時支援看護師 田井 実佐



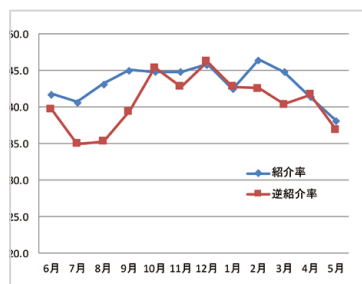
7月から退院支援看護師として配属されました。患者様や御家族の希望に沿った退院支援・調整が行えるよう他のスタッフと協力して精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

高知病院地域連携等概況

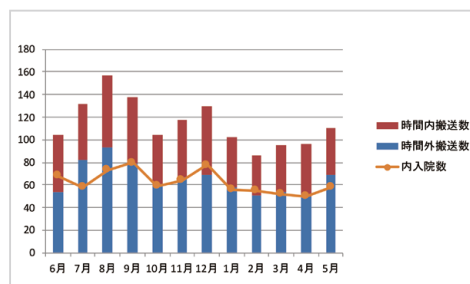
オープンシステム利用状況



紹介率・逆紹介率



救急搬送受診者数



外来診療担当医表

(令和3年7月1日現在)

■受付時間 8:00～11:00

■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日



独立行政法人
国立病院機構 **高知病院**

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
<http://www.kochihp.com>



診療科	区分・診察室番号	月	火	水	木	金
内科	午前 1診 ⑫			井上 修志	篠原・竹内 (隔週)	
	特別外来 ⑪	松森(糖尿病)	岩原(血液)	松森(糖尿病)	岩原(内科)	松森(糖尿病)
	午後 専門外来			化学物質過敏症(予約制)		
神経内科		不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼吸器内科 アレルギー科	午前 1診 ⑧	岡野 義夫	竹内 栄治	畠山 暢生	竹内 栄治	門田 直樹
	2診 ⑥・⑫		國重 道大	近藤 圭大	町田 久典	畠山 暢生
	午後 専門外来				禁煙外来 14:00～15:30(予約制)	
消化器内科	午前 ⑨	林 広茂	池田 敬洋	高橋 早代	高橋 拓	池田 敬洋
循環器内科	午前 ⑦	山崎 隆志	西村 直己	伊藤 いづみ (第2・4水曜)	山崎 隆志	
	午後 ⑦			伊藤 いづみ (第2・4水曜) 受付16:00まで	ペースメーカー (第2木曜)	
リウマチ科		⑩ 松森 昭憲 (糖尿病も診察)				松森 昭憲 (糖尿病も診察)
小児科	午前 1診 ①	大石 尚文	大石 尚文	井上 和男	小倉 英郎	大石 尚文
	2診 ②	佐藤 哲也	濱田 朋弥	佐藤 哲也	佐藤 哲也	高橋 芳夫
	3診 ③	井上 和男	澤井 孝典	小倉由紀子	井上 和男	
	午後 専門外来	慢性疾患 アレルギー	神経・アレルギー 循環器(第2火曜 医大循環器)	乳児健診	アレルギー NICU フォローアップ	慢性疾患 乳児健診
	予防接種	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)
外科 消化器外科 小児外科	午前 ⑤・⑥	東島 潤	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	山崎 誠司		金本 真美 (肝臓・胆道・脾臓外来)
	午後 専門外来		福山 充俊 (乳腺外来)			
呼吸器外科	午前 ⑧		先山 正二		先山 正二	先山 正二(予約制)
	⑦		日野 弘之 診察開始 9:30～		日野 弘之	
乳腺科	午前 ⑤	本田 純子		本田 純子		
	午後 ⑧			本田 純子 受付15:30まで		本田 純子 受付15:30まで
整形外科	午前 ①	福田 昇司(予約制)		善成 晴彦	福田 昇司	合田有一郎
	②	善成 晴彦				
	午後 ②	骨粗鬆症 13:00～15:00(予約制)			田村 竜也 (予約制)	
脳神経外科	午前 1診 ⑧			非常勤 診察時間 9:00～11:00(予約制) 予約外の方はお問い合わせ下さい		
皮膚科	午前 ⑬	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾
泌尿器科	午前 1診 ⑨	島本 力 診察開始 9:00～	葺石 陽亮 診察開始 9:00～	医大医師 診察開始 9:00～		島本 力 診察開始 9:00～
	2診 ⑦					葺石 陽亮 診察開始 10:00～
	午後		葺石 陽亮	医大医師		
産科	午前 ③⑤	滝川 稚也	滝川 稚也	甲斐 由佳 1ヶ月検診	木下 宏実	青木 秀憲
	午後					青木 秀憲
婦人科	午前 ③①	木下 宏実	甲斐 由佳	木下 宏実	滝川 稚也	甲斐 由佳
	午後		クーポンがん検診 (予約制) 10:30～11:30		クーポンがん検診 (予約制) 10:30～11:30	思春期外来(予約制)
眼科	午前 ⑭	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子
耳鼻咽喉科	午前 ⑮	中野・武田	中野・武田	中野・武田	中野・武田	中野・武田
放射線科		塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文

※ 市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日の午前中 外科外来にて行っています。診察も希望される場合は事前に外科までお問い合わせください。

※ 当日の受付は午前11:00までとなっております。